

## 令和4年度 第3回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和4年12月1日（木） 18時から19時35分
2. 開催場所 天竜中学校 2F 被服室
3. 出席委員 渡邊章好、鈴木滋芳、鈴木景子、中村まゆみ、匂坂典男、西尾和史、伊藤太一（学校支援コーディネーター \*以後CDで表記） 〈敬称略〉
4. 欠席委員 米山英二、小枝潤之、木戸京子 〈敬称略〉
5. 学 校 野秋愛美（校長）、神谷利之（教頭）、廣田憲一（主幹教諭）  
富田康仁（教諭、キャリア教育担当）、佐野正巳（校務アシスタント/CSディレクター）
6. 傍聴者 無
7. 協議事項 (1) 令和4年度CS活動の検証
  - ① 桜並木に関する活動
  - ② 2年生職場訪問
  - ③ ボランティア参加状況
  - ④ その他 全国学力・学習状況調査について(2) 今年度の活動に向けての説明
  - ① 浜松市いじめ防止等の為の基本的な方針  
学校いじめ防止基本方針について
  - ② 校則について
  - ③ 休日の中学校部活動の地域移行について(3) その他
  - ・学校アンケートのお願い
  - 浜松市教育委員会から
    - ・学校運営協議会自己評価のお願い
  - 次回開催日の確認 第4回学校運営協議会 令和5年1月下旬で予定
8. 会議録作成 CSディレクター 佐野正巳
9. 会議記録
  - ・議長は前回の会議で承認を得た鈴木会長にお願いする。
  - ・前回の会議録について委員からのご指摘は無く、了承されたものとした。

### － 協議事項 －

#### (1) 令和4年度CS活動の検証

##### ① 桜並木に関する活動 （神谷教頭）

○校庭横の桜並木については、過去のいきさつから学校としても大事に対応したい。米山委員から浜松市への働きかけもあり、桜の剪定については教育施設課が主体となって今年度末までに何らかの対応をしていただく事で話を進めている。また植樹については夢育やらまいか事業のCS予算で対応する。植樹1本あたり運搬費、支柱を含め15,000円～20,000円

##### ② 2年生職場訪問の成果 （富田教諭）

○10月13日（木）、14日（金）の2日間の午前中に事業所訪問を行った。学校支援CDの伊藤さんから各自治会への働きかけもあり、自治会を通じて、また学校からの直接お願いした分を含めて約70の事業所が受け入れてくれた。

○5～6人で班を編成、各班2、3ヶ所、累計で100ヶ所程の事業所訪問を実施した。

○生徒は各々探求テーマをもって臨み、疑問を自分の言葉で直接確認した。地域の会社を知る上でまた自分の将来の仕事を考える上で、生徒にとっては大変有意義な機会であったと思う。来年度も継続したいので、地域のご支援を引き続きお願いしたい。

③ ボランティア参加状況 詳細別紙 (神谷教頭)

○前回の運営協議会で「窓口を学校支援CDに一本化」する事になり、今年度は初めてその仕組みで作業を進めた。学校行事との兼ね合いで時間帯がうまくあわない事もあったが、参加した生徒はどの子も積極的に生き生きと活動した。

- ・ グランドゴルフと避難所立ちあげ訓練に参加したが、募集で苦労されているかとは思いますが同じ子供が複数のボランティアに参加している。参加は良いのだが、より多くの生徒の参加になって欲しいと感じた。それと3年生が多い。これは内申点のためと感じたが、多くの生徒の参加を考えた場合何らかのインセンティブ、例えばクオカードやマクドナルドの商品券など財源が許す範囲の小額でも良いから何か出してもらえたらなと思った。(匂坂)
- ・ 今年度からボランティア活動は私経由で募集案内を取り扱う事になり、各自治会に対してそうした説明をして何件かの話をもとめた。少し気になったのが、学校側の都合との兼ね合いでイベントの日程が学校側の行事とかち合った時、大変苦労をかけたのではないかと思う。避難所の立ち上げ訓練では年配の方々が中心となっている中、避難所設営で中学生の力が多いに役立っていた。またいろいろな役割を中学生に割り振っており、実際の災害発生時に大きな戦力となると感じた。(伊藤CD)
- ・ 生徒はどれでもいいがイベントに参加すれば地域との係わりもできる。参加すれば何らかの収穫があると思うので積極的に参加して欲しいと思っている。(鈴木景)
- ・ 学校側としてはこうした機会を与えてもらえるのは大変ありがたい。子供達には無理のない範囲での参加をと言っているのだから、参加した子供達は本当に自主的に参加していると思っている。確かに3年生の参加が多いとか同じ子供が参加しているのは認識している。それが進学(内申点)を意識したものとも思っているが、そうした子供達は学校生活の中でも同じ様な行動をとっているのだから、決してご褒美の為にやっているのではないことをご理解いただきたい。地域の役にたっていると感じている子もいる。そうした意識を持ってくれている事が大変嬉しい。社会で役に立つこと、これこそが本当のキャリア教育の実践の一環だと思っている。こうした機会を今後も与えていただけると大変助かる。(野秋校長)

④ その他

令和4年度「全国学力調査・学力状況調査の結果概要」の報告 (廣田主幹)

○天中は全教科において平均正答率で全国、県、市を上回った。その数字だけでよしとするのではなく、課題や伸ばしていきたい所を授業改善で補っていきたい。

- ・ 家庭における学習やゲームに関する事で何かご意見はありませんか?(野秋校長)
- ・ 中学生は部活もあり小学生に比べ実態を見る機会は少ないが今はスマホかと思う。(鈴木景)
- ・ 息抜きのためのゲームも良いと思うが、今の子供達はTVを見ない代わりにユーチューブを見ているようだ。今の子供達は情報はスマホから得ているしスマホで楽しくゲームをしている。やる事が無いからスマホでゲームは良くないと思う。(中村)
- ・ これまでスマホでゲームをする事やユーチューブを見たりするのはやめて勉強をと言ってきたが、今やスマホやネットといった事が必要な時代になっている。時間をどう使うかといった中で、インターネットやゲームについて考える時代かもしれない。これらを抑えすぎてしまうと、社会の流れについていけない。これからはむしろこうした機器を使いこなして行く時代だと思う。(匂坂)

- ・学習支援で不登校の子供を見ているが、この子がユーチューブの理科の実験が役に立っていると言っていた。本当は学校で実験をやるのがいいとは思いますが、ユーチューブがその代わりをしてくれているのが理解できた。（中村）
- ・依存にならない様にしながら ICT\*を活用する、これからは ICT をコントロールしながら役立たせる方向か。（野秋校長）

\*ICT (Information and Communications Technology 情報通信技術)

- ・有害サイトは学校で指導していると思うが、危ないサイトを教える事もお願いしたい。（鈴木滋）

## (2) 今後の活動に向けての説明 （野秋校長）

### ① 浜松市いじめ防止等のための基本的な方針 学校いじめ防止基本方針について

○最近「浜松市いじめの防止等のための基本的な方針」が改定され天竜中学校の基本方針も見直しをした。詳細は添付の冊子で後程確認していただきたいが、地域としてこうした点で力をつけて欲しいとか、こうした対応が必要なのではといったご意見を伺いたい。

- ・事件になるようないじめ、ちょっとした些細ないじめ等、いろいろ家で子供と会話するが、最近の大きな事件を見ていると、小さな芽の初期段階から親と子供がちゃんとコミュニケーションをとっているかが課題だと思う。（西尾）
- ・いじめられたりお金を取られたりとかは判りやすいと思うが、ちょっとした些細なこととか悪口を言ったり遊ばないとかそういったレベルではどう判断していくか、そしてそれがLINEの中で起こるとなるとなかなか難しい問題だなと思う。（鈴木滋）
- ・やはり早期に発見ということが大事かと思うが、なかなか親に言えない場合相談窓口が必要だと思う。そうした窓口はどの様になっているか？（西尾）
- ・学校には週1回だがスクールカウンセラー（SC）がきている。充分とは言えないが、家庭からの申し出等はほとんど無いので、実際には教師と生徒の話の中でSCに相談する事が多い。また子供からSCに相談する状況にはなっていない。（野秋校長）
- ・漫画の知識で恐縮だが、いじめに遭った場合、日本ではいじめられた側が問題になっているが海外ではいじめた側を問題としていてカウンセリングを受けたらどうかということになっている。要するにいじめるって事はその子の側に何か問題があると考えている。いじめられている側をカウンセリングというのではなく、いじめる側にカウンセリングをする方が良いのではと思った。いじている側にこそ心に大きな悩みを抱えているのではと考えた。もしいじめが判ったら、いじめる側にもカウンセリングをしてみてもどうかと思う。（鈴木景）
- ・自分が子供の時代にも確かにいじめはあったが、されている側は結構悩んでいたと思う。またしている側はあまり気にしていない様な気がした。今日はいじている側をカウンセリングする考えになるほどなと思った。（伊藤CD）
- ・僕らの時代はどちらかという子供の中で解決した。仲間内でいじている子をみんなで自制させるというやり方をしていたと思う。いじめがあっても家に入る前には泣き止んでいた。そして子供のけんかに親は出ない。親が出てくると、今度はその子供が仲間内から外されていくといった世界だった。また私の知人はいじめを防ぐために子供を野球チームに入れるとかラグビー部に入れて、子供に余分な事をさせないようにしていた。そして子供には何でも判ってくれる友達を持つようにさせ、その場に行ったら自分は安心できるといった環境を作るようにしていた。今の親御さんも大変かとは思いますが、やはり親の姿を見て子供は変わってゆくと思うので、親が家庭でどう子供に接するかが大切だと思う。子供の話は一切聞かないようになっていっていると子供は意見を言うことができない。こんな事があるよとも言えない状態、ちょっとした悩みでも家庭で打ちあけることができないような状態にならない様に、なるべ

く相談によってあげて問題を解決できる様な環境にしていくことが必要。何でも問題を学校にもってくるのではなく、家庭で対応できるようにする事が大事。親を見れば子もわかる、そういう意味で家庭生活は学校生活よりも大切だと思う。（渡邊）

- ・人が集まるといじめは出る。そして内容は各々異なり難しいテーマだと思う。いじめは細かく対応していくしかないと思う（鈴木滋）
- ・今日はいろんな事を言っただきヒントになるご意見も出たので、それを基本方針に書き込めるか考えてみたい。（野秋校長）
- ・不登校の生徒はどれ位いて、どんなアプローチで対応しているか教えて欲しい。（匂坂）
- ・いろいろなケースがあるが、例えばあるきっかけで不登校になって、その時の問題が解決されたとしても、引き続き不登校の例もある。いろいろな理由で不登校の子供がいる。病気とかも含めて毎日4～5%の子供は休んでいる。人数にすると病欠も含めて平均25～6人が休んでいる。不登校は学年が上がると増える傾向にあり、14～5人が実情。こうした子供達には先生の方から電話をしてもらっている。ICTを使って補習もできるが、そうした家庭はICTを使う環境にない家庭が多い。ICTでミートという機能（会議形式のズーム機能を簡略化したもの）もあるが、使っても相手の子供達がのってこない。こうした子供達には学校側から頻繁に連絡をして関係を切らさないようにしている。また学校には適応教室を設けている。教室に入れない子供はそこで過ごしている。10名ほどいる。いじめはないが、不登校の子供もそこにいる。天中のいじめの防止対策基本方針は今後も見直しをしていくが、その過程でまたご意見をいただく事もあるのでその節はよろしく願いたい。（野秋校長）

## ② 校則について（野秋校長）

○校則については適宜見直しを行っている。現行のものを資料として配付したが、ご意見をいただきたい。

- ・校則について子供は何も不満を言わないし、息苦しさを感じている風でもない。（西尾）
- ・伊藤さんの時代は坊主だったよね。（鈴木滋）
- ・ソックスで白の指定は、洗濯する親は手洗いもあり大変。黒とか紺ではいけないのか疑問。子供も校則に対して不満はなさそうだが、ソックスの白だけは疑問を感じている。（鈴木景）
- ・携帯電話の持ち込みについて学校で使うのは駄目だと思うが、例えば部活や子供達のコミュニケーションは携帯でとっている。携帯がかなり普及している中で駄目と言うのは疑問、個人的には使ってもいいのではと思っている。（匂坂）
- ・冊子のP4-②で「携帯電話の持ち込みは原則禁止」としている。（野秋校長）
- ・毎朝どこかに預けて帰りに持って帰るとかの運用は？（鈴木滋）
- ・理由があって携帯を持ってくる生徒は実際いる。（野秋校長）
- ・その他、個人的には校則で細かく決めていくのではなく、天中魂によって大まかに表現するとか大きなくくりで表現するのがいいと思う。（匂坂）
- ・何か決まりを作っておかないといけないのだろうけども解釈のところでもいろいろ出てきてしまうと非常に問題がある。これは難しい問題だ。（鈴木滋）
- ・自分の見た範囲では、そんなに問題となる部分はないと思う。確かに我々の時は携帯やタブレットなかったから、そういう点は加える必要があると思う。匂坂さんがいうように大きなくくりで考えるのも大切だが、多少は細かなところまで含める必要がある。（伊藤 CD）
- ・携帯電話の所持については持っていない子供もいるので、原則禁止で良いと思う。（中村）
- ・一度子供たちにも意見を聞いてみるのもいいと思う。採否は別にして子供に意見を聞くのはよいのでは？（伊藤 CD）

- ・自分が子供の時生徒会長をしたが、校則見直し委員会というのを作って検討した。その時は坊主頭を長髪にとか、シャープペンシルの使用について考えた。（匂坂）
  - ・ソックスの件に関して子供たちに聞けばいろんな意見が出てくると思うが、その他は現状でそんな変な意見で出てくるとは思わない。（野秋校長）
  - ・子供達も安易になる方向にとかにはならないと思うので、一度確認してもよいかも。（教頭）
  - ・一度生徒に保護者の意見も含めてアンケート方式で確認するのもよい。（鈴木滋）
- ③ 休日の中学校部活動の地域移行について （野秋校長）
- 令和8年9月から休日の部活動は地域に移行するが、ご意見を伺いたい。
- ・子供が休日に何かやりたいという事になるとお金がかかる。お金が払えない家庭の子供はやれなくなると思う。また指導者の方も、平日働いて土日はボランティアでやってくれるとしても、そういう人を探すのはなかなか難しいのでは？市の方は予算を考えてくれているのか？休日の部活動は結局お金がらみだと思ふ。（鈴木景）
  - ・本当にその通りだが、市がそういった運営の仕組み作りをしてくれるのは現段階では不透明（野秋校長）
  - ・国から予算をもらって市に割り振ってやるとしても、受け入れ側の人達がいるのかなかなか分からない。どんな指導者がいるのか分からないし、その指導者がどこまで責任をもってやってくれるのか分からないし、その人のレベルも分からない。国は地域に投げるのはいいが、その先をどうしてくれるのか分からない。地域丸投げでは？（鈴木滋）
  - ・そうならないようにしていくために、今出せる知恵は出していきたい。（野秋校長）
  - ・学校がどこまで関与するかによって内容が変わってくる。少なくとも移行期間は今までの延長で進むはずなので、例えば土日は学校を会場にして、運営の主体は学校または地域ボランティアの人でとかなるのでは？（匂坂）
  - ・しかし学校自体は学校を外したいのだからそこはどうか？（鈴木滋）
  - ・いきなり学校を外すのは無理でしょう。（匂坂）
  - ・今は野球やサッカーの競技人口が多いが、今後はどうなるか分からない。例えば卓球の人口も結構多いので、天竜中学校区の生徒は活動拠点を天中の体育館にするとかは有りかと。学校の体育館のカギについてもスマート化を進めている流れもある。但し校舎の開放もありとすると、天中の吹奏楽部、今は主に南校舎を使って完結させているがメイン校舎の音楽室を使っている学校もある。その辺りがどうなっていくのか情報を集めていきたい。（神谷教頭）
  - ・今は天竜中学が主体となってやっているが、競技種目によっていろいろなケースが出てくるとすると、主体それぞれでやり方が変わってくるのでは？（伊藤 CD）
  - ・実はそういう事例も。天中はモデル校（3校）の一つとして月2回トビオで練習している。その主体は浜名湾水泳協会。指導者は国から補助もあり、市内校で行きやすい学校ということで天中も誘ってもらって参加している。生徒は1回50円で使えて大変評判がいい。今は1回50円だが、今後は補助がなくなって受益者負担になるかもしれない。そういった費用の問題も、教頭先生が言った場所（会場）の問題も含めてどういったシステムにするか移行期間中にやっていくことになる。今後皆様のご意見を確認していきたい。（野秋校長）
  - ・もう少し具体的になってくれば地域としても対応方法を考えることができる。（伊藤 CD）
  - ・いろいろ参考になりました。（野秋校長）

□ 浜松市教育委員会から

- 学校運営協議会自己評価のお願い （堀田指導主事）

○学校運営協議会は年度末に自己評価表で教育委員会への報告をお願いしている。  
別紙にて2枚添付している。1枚は（様式1）の令和4年度 学校運営協議会自己評価表、もう1枚は作成の留意点の用紙です。様式1に則って各々の評価項目にご意見を記入いただき、次回協議会で皆さんからのご意見を収集、学校支援ディレクターが取りまとめ2月末日を目途に教育総務課まで提出していただくことをお願いしたい。

○様式1の書式について補足すると

<評価項目1>

第1回に野秋校長から説明のあった天竜中学校の教育方針についての感想

<評価項目2>

第2回と第3回の内容についての感想

<評価項目3>

これまで協議会で会話してきたことの振り返りから考えた次年度の取り組み課題案

<評価項目4>

何か追記したい場合に記入して頂きたい。

・次回の協議会はこの後詳細をきめたいが1月下旬で予定しているのでこの時までに委員の方々のご意見を集約させていただければと思う。（神谷教頭）

□ 次回開催予定（案）

**1月26日（木） 午後3時30分～5時（終了予定）**

**場所は 2F被服室**

以上